

かわさき

# 社協だより

2020.7 発行：社会福祉法人 **川崎町社会福祉協議会**  
〒989-1501 川崎町大字前川字北原23-1  
No.87 TEL 0224-85-1222 FAX 0224-85-1224  
E-mail kawasakit-shakyo@io.ocn.ne.jp

ふれあいネットワーク



## 川崎町デイサービスセンターのご案内

- 住み慣れた川崎町で自立した日常生活を営む事ができるよう、心身機能の維持・向上をはかり支援していきます。
- 介護するご家族の方の身体的・精神的負担の軽減を図り、安定した生活を送れるよう支援していきます。
- 見学もできますので、ぜひ一度お越しください。ご相談、お問い合わせお待ちしております。

川崎町デイサービスセンターではこんなことを行っております。

### 送迎

リフト付きのワゴン車や、乗用車にて玄関までの送迎サービスを行っております。



### 健康チェック

安心してご利用頂く為に、みなさんの健康状態を到着後にチェックしています。今はコロナウイルス対策として、自宅に熟発されている方の利用はご遠慮させていただいております。



### 入浴サービス

天然温泉です。ゆっくり安心して入浴できるようにお手伝いさせていただきます。さらに、季節に応じた入浴を楽しんでいただいております。(写真は菖蒲湯)



### 機能訓練

リハビリ体操や腰痛体操などを行い、身体機能の維持向上を図ります。



### 食事サービス

ご年齢や身体の状態に合わせた食事を提供しております。行事に合わせた特別メニューも提供しています。



### レクリエーション・創作活動

季節ごとの行事や運動を兼ねたレクリエーション、指先を使う創作活動にも力を入れています。



他にも、小学生の皆さんとの交流会やボランティアの方々によるハーモニカや尺八の演奏など、定期的に披露いただいております。また、柴田農林川崎校ボランティア部の生徒たちより、デイサービス内の掃除や菜園の草むしり、レクリエーション用具の制作などの協力をいただいております。

営業時間 月～土(祝祭日も営業しております) 8:15～17:00まで

お問い合わせ 川崎町社会福祉協議会 TEL.0224-85-1222 FAX.0224-85-1224

# コロナに 負けない!! マスクがなければ 作ってしまえ



川崎町デイサービス利用者の方々が作った、色とりどりでアイデア満載のオンリーワンマスク! 大変な時だからこそ、みんなで心をひとつに。ワンチーム精神で乗り切っていきましょう!

## ボランティアサマーフェスタ'20 についてのお知らせ

毎年恒例となっているボランティアサマーフェスタですが、今年新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、残念ではありますが**中止**する事となりました。来年度のボランティアサマーフェスタは例年以上のイベントになるよう、準備を進めて参ります。皆様のご協力をよろしくお願い致します。

かわさき

社協だより 2020年7月  
【No.87】

発行：社会福祉法人川崎町社会福祉協議会 川崎町大字前川字北原23-1 TEL.0224-85-1222  
ホームページ <http://www.kawasaki-shakyo.com/pc/> または「川崎町社協」で検索してください  
制作/印刷：株式会社ホクトコーポレーション

### 2 ボランティアセンター事業

- 1) ボランティア団体等の調査・情報提供
- 2) ボランティア登録と斡旋
- 3) ボランティア保険受付
- 4) ボランティア活動連絡・調整
- 5) 有償ボランティア活動連絡・調整
- 6) NPO・ボランティア団体等情報交換会の開催
- 7) ボランティアに関する講座・研修会の開催
- 8) 災害ボランティア運営協定による支援
- 9) 災害時におけるネットワークの構築及び、災害ボランティアセンター運営
- 10) 災害に関する研修会の開催
- 11) 仙南地区社会福祉協議会連絡会運営による近隣社協との連携
- 12) 被災地活動ボランティア団体への支援協力

### 3 福祉教育推進事業

- 1) キャップハンディ体験
- 2) キャップハンディグッズ・レクリエーショングッズの貸出し
- 3) 福祉体験学習の開催
- 4) 福祉教育推進事業(町内小中学校へ助成)
- 5) 防災・福祉教育出前講座
- 6) ボランティアサマーフェスタ参加
- 7) スノーバスター活動
- 8) 川崎町デイサービスセンター利用者との交流
- 9) 世代間交流事業

### 4 見守り支援ネットワーク事業

- 1) 民生児童委員活動の推進と連携の強化
- 2) 民生児童委員・小中高等学校・警察連絡会議の開催
- 3) 児童遊園遊具等危険箇所点検…児童福祉部会で実施
- 4) 小中学校朝の声かけ運動
- 5) 高齢者地域見守りネットワークへの支援
- 6) 子ども見守り事業…  
新入学児童へ防犯ブザーの配布、熊除け鈴の配布

### 5 地域福祉型福祉サービス事業

- 1) 介護機器の貸出し  
(介護保険外サービスとして車イスと補聴器無料短期貸出し)
- 2) 有償ボランティア活動(ケアネット活動)
- 3) 高齢者世帯等スノーバスターズ
- 4) 善意銀行(金銭・物品)の預託と払出
- 5) 各種物品(レクリエーショングッズ、キャップハンディ体験グッズ、テント等の貸出し)

### 6 町受託事業

- 1) 福祉有償移送サービス(月～金実施)
- 2) 配食サービス(月～金実施)
- 3) 川崎町放課後児童教室の運営(川崎・今宿・碓石・前川)  
運営(月～金、月1回土曜日開室、夏休み・冬休み等1日開室)

### 7 当事者等支援事業

- 1) 一人暮らし高齢者支援
- 2) 在宅介護者への支援
- 3) 交通海難労災遺児への支援
- 4) 当事者団体支援
- 5) 青少年健全育成対策事業
- 6) 火災等災害見舞事業
- 7) 生活困窮者への支援
- 8) 法外支援在宅サービス

### 8 共同募金委員会事業

- 1) 赤い羽根運動の実施(10月～12月)
- 2) 歳末たすけあい運動の実施(12月1日～31日)
- 3) 配分調整(配分申請受付、連絡調整)
- 4) 配分調査委員会・歳末助け合い配分委員会の開催
- 5) 災害義援金受付窓口
- 6) 小規模災害見舞

### 9 福祉関係機関・団体との連携

- 1) 川崎町民生児童委員協議会の運営支援(事務局)
- 2) 川崎町ボランティア友の会の運営支援(事務局)
- 3) 川崎町身体しょうがい者福祉協会の運営支援(事務局)
- 4) 川崎町遺族会の運営支援(事務局)
- 5) 宮城県身体障害者福祉協会仙南地方連絡協議会活動支援
- 6) 心身障害児者親の会への支援
- 7) 母子福祉協議会への支援
- 8) 保護司会・更生女性部会への支援
- 9) 他ボランティア団体等への支援協力
- 10) 川崎町老人クラブ連合会への協力…シルバースポーツ大会協力
- 11) ふれあいネットワーク事業運営委員会(事務局)

### 10 調査研究事業

- 1) 地域福祉活動計画に関するニーズ調査
- 2) 要援護者調査
- 3) ボランティア団体調査



(ほのほの会)



(防災学習)

## 2.福祉サービス利用援助事業

### 1 日常生活自立支援事業(まもりーぶ事業)

- 1) 生活支援員活動支援
- 2) 仙南地域福祉サポートセンターとの連携

### 2 生活相談運営事業

- 1) 各種相談員との連携
- 2) 生活相談所の開設

### 3 法人後見事業

- 1) 成年後見制度の推進
- 2) 成年後見の適正な運営
- 3) 地域包括支援センター・保健福祉課との連携

### 4 各種福祉資金の貸付事業

- 1) 生活安定資金貸付
- 2) 生活福祉資金貸付
- 3) 生活福祉資金調査委員会の開催
- 4) 民生委員との連携強化

### 5 苦情受付、解決窓口の開設

- 1) 苦情解決窓口の開設
- 2) 第三者委員の設置

## 令和2年度 川崎町社会福祉協議会 事業計画

### 基本方針

今日の地域社会を取り巻く状況は、少子高齢化が進み、家族形態の多様化に伴い、高齢者の一人暮らしや高齢者世帯の増加や、子育て家庭の孤立や子育ての不安感・負担感の増加、孤独死、ひきこもりなどの社会孤立、経済的困窮・子どもの貧困など新たな社会問題も発生し、複雑化の一途を辿っております。

この様な状況の中、川崎町社会福祉協議会では、基本理念である「誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる福祉のまちづくり」の実現に向け専門組織、住民組織や福祉関係者の参加と協働活動の充実を図り、社会福祉協議会の基本的役割とする連絡調整、ネットワーク・協働の取り組みを進め、その地域の特性に応じたシステムづくりに向けて関係機関との連携強化を図りながら地域福祉の向上に努めてまいります。

昨年発生した台風19号の被害は宮城県内の地域で多くの爪痕を残しました。自然災害は、毎年日本全国で発生し、どこで災害が起きてもおかしくない状況にあります。このように、災害時に対する備えとして平常時からの取組み強化が求められることから、防災マップ作成事業や防災福祉教育事業など防災に関する取り組みを行ってまいります。

また、日常生活自立支援や、法人後見事業における権利擁護活動の推進や、生活困窮者やひきこもりの方等への自立支援にむけ、民生児童委員をはじめとする他の関係機関・団体と連携しながら解決に向けた取組みや支援をおこなってまいります。

法人運営については、職員の人材確保と処遇改善を推進し、質の高いサービスが提供出来るよう、介護サービス事業充実を図り、安定した経営に努めてまいります。



(台風19号ボランティア支援)

### 重点事業

#### 1.地域福祉活動計画の策定

町が策定した「地域福祉計画」に合わせた「地域福祉活動計画」の策定にむけ、策定委員会を設置し、地域住民と関係機関・団体・社会福祉事業者、行政と連携し地域の課題を解決していく支え合いの仕組みづくりを進めてまいります。

#### 2.地域に根ざした支援体制づくり

「住み慣れた地域で安心して暮らせる福祉のまちづくり」を目指すため、住民自らが主体的にこれまでの経験や知識を活かして地域課題の解決に向けた実践的な住民活動の推進を図るため生活支援サービス事業の充実や、地域包括と連携しながら地域での支え合い活動の活性化に向けた取り組みに努めてまいります。

#### 3.働きやすい職場づくり

働き方改革により、年5日の年次有給休暇の取得や、同一労働同一賃金指針が出され、それに向けて職員の処遇改善に取組み、職員の働きやすい環境を整備してまいります。

#### 4.組織体制の運営強化・充実

組織体制の運営強化として、職員の人材確保や職員の意識向上のため、事務局、介護サービス事業所とも高齢者や障がい者、生活困窮者等の支援の福祉専門職である事を自覚し、専門性や課題解決能力の向上を図るために、研修会への参加を促し、職員の更なる資質向上を図ります。また、財政状況の増加を見込むため利用者の確保に努め、安定した経営とより良い介護サービスの提供に向けて運営体制の充実強化を図ります。

## I 地域福祉の推進

### 1.地域福祉推進事業

#### 1 地域福祉ネットワーク事業

- 1) ケアネット活動の推進
- 2) ボランティアフェスティバルの開催
- 3) サロン活動の推進
- 4) 防災福祉マップ作成事業
- 5) 災害時要援護者マップ作成・把握
- 6) 安心カードの作成・配布
- 7) 認知症サポーター養成・キャラバンメイト・認知症講座への協力支援
- 8) 社協広報誌の発行
- 9) 社協ホームページの更新・情報発信
- 10) コミュニケーション麻雀の出前講座
- 11) ふれあいネットワーク事業
- 12) ふれあいネットワーク事業情報交換会
- 13) 男の料理教室



(ボランティアサマーフェスタ)



(お茶っこ飲み会)

## みやぎ地域福祉サポートセンター まもりーぶ

まもりーぶは「まもる」と「びりーぶ」(信じる)を組み合わせた愛称です。



在宅の認知症高齢者や、知的障害・精神障害のある方で、自分に必要な福祉サービスを選んだり、利用するための契約を結んだり、利用料等の支払いをすることが一人では出来ない(自信がない)方のご相談に応じ、暮らしのサポートをしています。

### どんなことをしてくれるの？

- 福祉サービス利用のお手伝い
- 日常的な金銭管理のお手伝い
- 書類のお預かり

契約によりサービスの提供を行います。

### 利用料金

- 基本料金……………1ヶ月/700円
- サービス料金……………30分/500円
- お預かりサービス……………1ヶ月/300円
- サービス提供に係る旅費…キロ数に応じて

※サービス料金は減免になる場合があります。

お問い合わせ 仙南地域福祉サポートセンター TEL.86-3811 川崎町社会福祉協議会 TEL.85-1222

令和2年度

## 川崎町社会福祉協議会会費納入のご協力をお願いいたします。

～地域福祉事業は、皆様の会費により支えられています。～

川崎町社会福祉協議会は、「誰もが安心していきいきと暮らせるまちづくり」を目指して、地域住民の皆さまをはじめ、民生委員・児童委員、ボランティア団体等、関係機関との連携、行政と協力しながら事業を展開しております。

皆さまからの会費は、地域福祉事業、福祉教育事業、ボランティア活動推進などを支える貴重な財源として活用させていただきます。

つきましては、今年も地域の皆さまのあたたかいご協力によりまして福祉の輪が大きく広がるよう会員会費のご協力について、よろしくお願い申し上げます。

### 会員会費(年額)

- 一般会費 **1,000円**
- 賛助会費 **3,000円**

## 生活相談所のお知らせ

日常生活上の心配事や悩み事を相談できる身近な相談所を開設しております。生活相談員が親身になって相談に応じます。

### 生活相談員の紹介

- 追木 三郎 84-2705
- 大沼 まき子 84-4022
- 大宮 うめ子 84-5181

- 相談日/毎週水曜日(祝日は休み)
- 時間/10:00~15:00
- 場所/川崎町健康福祉センター

お問い合わせ 川崎町社会福祉協議会 TEL.85-1222 事前予約制となっております。

## II 在宅福祉サービスの推進

### 1.介護保険事業の推進

#### ① 居宅介護支援事業

高齢者が住み慣れた地域で暮らしていくために要介護認定を受けた方のケアプランを作成し、可能な限り在宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう支援します。

#### ② 訪問介護・予防訪問介護事業

介護を必要とする高齢者などに対して、日常生活全般の状況及び要望を踏まえて自立した生活を営むことができるよう、入浴・排浴・食事の介助、その他生活全般にわたる援助を行います。

#### ③ 通所介護・予防通所介護事業

介護を必要とする高齢者などに対して、必要な日常生活上の介護や機能訓練を行うことにより、利用者の心身機能の維持を援助します。また、介護者の身体的・精神的負担の軽減を図りながらサービスの提供を行います。

## III 法人運営体制の整備

### 1.社協基盤の充実・強化

#### ① 社協組織の強化

- 1) 理事会・評議員会の開催
- 2) 評議員選任解任委員会の開催
- 3) 税理士による外部監査・月次監査(月1回)
- 4) 社協会費の加入推進
- 5) 介護保険事業の安定的経営
- 6) 月次業務報告による経営状況把握及び改善
- 7) 介護サービス情報公表制度による公表
- 8) 社会福祉充実計画の作成
- 9) 地域福祉活動計画の策定…策定委員会の開催

#### ② 職員体制の整備と資質向上

- 1) 各種研修会への参加
- 2) 社協ミーティングの開催
- 3) 安心安全なサービス提供体制
- 4) 職員の資格取得の促進
- 5) 介護サービス事業所での実習受け入れ



## 令和2年度地域福祉推進事業会計予算

単位:円

項目	金額	内 訳
会費収入	2,775,000	普通会費収入 2,304,000 団体会費収入 21,000 賛助会費収入 450,000
寄附金収入	265,000	一般寄附
経常経費補助金収入	18,922,000	運営費補助-県社協補助
受託金収入	45,210,000	町受託金収入 45,060,000 県社協受託金収入 150,000
事業収入	120,000	参加費収入
貸付事業収入	201,000	生活安定資金償還金
共同募金配分金収入	906,000	一般募金配分金収入 826,000 歳末たすけあい配分金収入 80,000
受取利息配当金収入	7,000	
拠点区分間繰入金収入	19,498,000	介護保険事業より繰入
サービス区分間繰入金収入	3,383,000	
収入計	91,287,000	

項目	金額	内 訳
人件費支出	67,601,000	
事業費支出	4,863,000	
事務費支出	5,405,000	
貸付事業支出	200,000	生活安定資金貸付
共同募金配分金事業支出	904,000	一般募金配分金事業 824,000 歳末たすけあい配分金事業費 80,000
助成金支出	515,000	各福祉団体
負担金支出	90,000	各種負担金支出
その他の支出	10,000	
固定資産取得支出	1,270,000	
サービス区分間繰入金支出	3,383,000	
積立資産支出	3,000	
その他の活動による支出	6,943,000	退職共済支出
予備費	100,000	
支出計	91,287,000	

## 令和2年度介護保険事業会計予算

単位:円

項目	金額	内 訳
居宅介護サービス	160,231,000	居宅介護支援・訪問介護・通所介護
居宅介護サービス	160,231,000	居宅介護支援・訪問介護・通所介護



児童教室に

# こんにやくとラスクの差し入れ

川崎町では3月から5月末まで新型コロナウイルス感染防止に向けた休校措置がとられました。通常の学校生活を送る事ができない中、川崎町児童教室を利用している児童たちへ、川崎蒟蒻様より玉こんにやく、シベール様よりラスクの差し入れをいただきました。子供たちにとって、嬉しいひとときになったのではないかと思います。

川崎蒟蒻様、シベール様、ありがとうございました。

3月18日

## 川崎蒟蒻 玉こんにやくの差し入れ



4月22日

## シベール ラスクの差し入れ



# マスクの寄付ありがとうございます

新型コロナウイルスの予防として住民の方よりマスクの差し入れを頂きました。布生地を型に合わせて作成されたそうです。早速配食サービスや訪問介護等を利用されている方々へお配りしました。皆様大変喜ばれており、新型コロナウイルスの1日も早い終息を願っております。



# 地域のサロンを紹介します

今年度より、川崎町内にて活動を行っているサロンを取り上げています。今回は、いきいきサロンを紹介します。

## いきいきサロン

開催日時:毎週火曜日  
9:30~11:30  
開催場所:山村開発センター  
2階研修室

いきいきサロンは震災後の2011年6月にスタートし、町内では歴史のあるサロンになります。今回、サロン代表である石野信子さんに話を伺いました。

立ち上げからの2年間は利用する方よりもスタッフの人数が多かったそうです。これではまずいと考え、サロンのアピールを行ったり知り合いに声をかけ、少しずつ利用する方が増えていき、今では20~25人くらいの方が利用されているそうです。

いきいきサロンの最大の特徴は、町役場に隣接している山村開発センターが活動の場という事もあり、アクセスが良く川崎町全域から利用する方が集まってくるところにあります。その為、各地区の人たちと情報交換ができる事、また近所のように関係も近すぎない為、気軽に何でも話す事ができるというメリットもあります。

毎週のレクリエーションはどのように決めているのかと聞いてみたところ、5名のスタッフが順番で担当となり、レクリエーション内容を決めて毎週の活動をサポートしているそうです。

現在は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から活動を行っていませんが、9月からのサロン活動再開に向けて準備していきたいとの事でした。



忘年会の様子



釜房ダムをバックに記念撮影



年に数回コミュニケーション麻雀を行っております。取材時も白熱した対局が繰り広げられ、盛り上がっていました。

### サロン活動の内容

主にゲームや手芸、カラオケなどで盛り上がり、年に数回コミュニケーション麻雀講座として社協スタッフもお邪魔しています。

また、町の専門職等より、健康についての講話等を取り入れているそうです。

さらに、いきいきサロンでは季節に応じた行事を開催しています。春はバスを借りて花見に出かけたり、夏にはお弁当を食べながら夏祭りを開催、秋には芋煮会、年の初めは新年会を開催し、年間通して充実したサロン活動が行われています。

石野さん、ありがとうございました。これからもお邪魔させていただきます。